

第1回 水防活動活性化調査会 議事要旨

日時：平成30年3月19日 13:00～15:00

場所：三田共用会議室3階大会議室

○議事要旨

<団員確保・団員支援に係る取組>

- ・若者の水防工法の体験の機会を増やしてはどうか。
- ・若者や女性の団員確保の難しさは、これらの住民において「河川整備と水防は車の両輪である」という理解が不十分であることによるのではないか。
- ・退避のルールを含む安全確保の取組は、新たな団員を確保するためにも重要ではないか。また、現実的な退避の訓練が必要ではないか。
- ・河川、降雨等の防災に関するきめ細かな情報を市町村の防災担当が県・国と連携しながら的確に住民・水防団・消防団に伝え、退避する取組が必要ではないか。
- ・避難指示がでていても住民は堤防まで見学にこられるため、避難についての広報を如何に周知徹底していくのかが課題ではないか。
- ・地域の企業と連携する際、CSR（地域貢献）だけでなく被災しないようBCPの観点からも水防活動への参画を働きかけるという方法もある。
- ・若者や女性など水防活動の仲間を増やしていくには、若者や女性などの視点に立ったPRや参加の仕組みが必要である。
- ・事後のPRだけでなく、近年の自衛隊の災害時広報戦略のように、実際の水防活動がニュース等で紹介されるようなPRが必要ではないか。

<水防力の維持・向上に係る取組>

- ・水防工法について、漏水などのメカニズム等を理解してもらうことも重要ではないか。
- ・水防工法は土のう積が主体であるが、人手のかからない、短時間でできる工法を普及させていく取組が必要ではないか。
- ・危険な作業が伴う水防工法や時間を要する水防工法について、改善する必要があるのではないか。

- ・水防活動を含む災害協定の現状について整理し、建設業者の水防活動への参画を推進する必要があるのではないか。
- ・位置情報を利用して、水防団員がどこにいるか表示されたり、近くの水位情報や監視カメラ映像等が自動的に表示されたりするような水防団お助けアプリのようなものが必要ではないか。
- ・水防活動を効率的・効果的に実施するためには、いつ、どこで、どのような水防が必要かという情報を共有して取り組むことが重要ではないか。
- ・団員の確保とあわせ、団員の訓練が重要であり、特に、震災と併せて、水災など複合型の訓練を導入し充実を図ることが必要ではないか。
- ・増水時に避難誘導するために簡易で安価なゴムボートがあるとよい。
- ・水防は水との戦いであり、現地の情報をうまく集め、新しい様々な技術を使い、近代戦をすることが重要ではないか。

<団員の士気高揚に係る取組>

- ・高齢化とか団員減少は課題ではなく現象として捉えるべき。その上で高齢者も元気に活動できる環境を確保しているというPRも必要ではないか。
- ・テレビ、新聞等でのCMを通じたイメージアップで団員の家族や職場の理解を得た例もある。団員の家族や職場の理解が得られるようなPRが必要ではないか。

以上